令和４年度事業報告の件

１．第 11 回定時総会実施報告

（１）総会の種類　　定時総会
（２）開催日時　　令和４年６月 14 日（火）　13 時 30 分～14 時 30 分
（３）開催場所　　東京都港区新橋 1-2-6　第一ホテル東京　４階「プリマヴェーラ」
（４）出席代議員数　133 名　　（内訳）本人出席 27 名、書面表決 106 名
（５）欠席代議員数　１名
（６）出席理事・監事　理事 15 名、監事３名
（７）欠席理事・監事　理事２名、監事０名
（８）議題

第 11 回定時総会における第１号議案から第３号議案すべて承認され、第１号報告から第３号報告を報告しました。

・第１号議案：令和３年度決算報告（貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録）の件
・第２号議案：役員の選任（理事２名）、役員の解任（理事１名）の件
・第３号議案：本日の決議中必要ある場合、決議の本旨に反しない字句の訂正を議長一任について
・第１号報告：令和３年度事業報告の件
・第２号報告：令和４年度事業計画の件
・第３号報告：令和４年度収支予算の件

２．令和４年度の代議員について

令和４年度の代議員は 134 名となります。

地域協会	代議員数	備考
東京都	38	
栃木県	8	
群馬県	11	
茨城県	14	
埼玉県	16	
千葉県	16	
神奈川県	23	
山梨県	4	
静岡県	4	
計	134	

３．会員の動向

厳しい社会情勢を反映して、令和４年４月会員数8,145名に比べ、223名減少し、令和５年３月末の会員数は7,922名となります。

地域協会	会　員　数			備　考（新加入）
	４月会員数	３月会員数	増減	
東京都	2,211	2,150	▲61	18
栃木県	515	496	▲19	3
群馬県	639	617	▲22	1
茨城県	842	818	▲24	4
埼玉県	1,019	996	▲23	9
千葉県	1,015	984	▲31	6
神奈川県	1,385	1,355	▲30	11
山梨県	286	280	▲6	2
静岡県	233	226	▲7	0
計	8,145	7,922	▲223	54

４．他団体の委員会への参画

４月11日（月）　電気安全関東委員会　幹事会
５月19日（木）　電気安全関東委員会　通常総会
５月26日（木）　電気安全関東委員会　電気安全向上のための連絡会議
５月30日（月）　日本電気協会関東支部　運営委員会
８月　３日（水）　電気安全関東委員会　表彰選考委員会
８月29日（月）　日本電気協会　電気設備技術基準国際化調査委員会
８月31日（水）　電気安全関東委員会　電気安全向上のための連絡会議
９月　５日（月）　日本電気協会　電気設備技術基準国際化調査委員会WG3
９月21日（水）　日本電気工事士協会　臨時社員総会
10月　３日（月）　日本電気協会　電気設備技術基準国際化調査委員会WG3
10月24日（月）　電気安全関東委員会　電気安全向上のための連絡会議
11月10日（木）　日本電気協会関東支部　運営委員会
11月11日（金）　日本電気協会　電気設備技術基準国際化調査委員会WG3
11月24日（木）　日本電気協会　電気設備技術基準国際化調査委員会
11月25日（金）　日本電気協会　電気設備技術基準国際化調査委員会WG3
12月15日（木）　日本電気協会　電気設備技術基準国際化調査委員会WG3
12月21日（水）　電気安全関東委員会　電気安全向上のための連絡会議
１月19日（木）　日本電気協会　電気設備技術基準国際化調査委員会
１月31日（火）　電気安全関東委員会　表彰予備選考会
２月　３日（金）　電気安全関東委員会　表彰選考委員会
２月21日（火）　電気安全関東委員会　電気安全向上のための連絡会議
３月　１日（水）　日本電気協会関東支部　運営委員会

５．理事会、常務会、委員会等の開催状況

4月12日	定例常務会	10月12日	定例常務会
5月12日	定例常務会（書面表決）	10月27日	電気安全表彰推薦候補選考委員会
5月25日	監査会	10月27日	臨時常務会
5月31日	役員候補者選考委員会（Web併用）	10月27日	定例理事会（Web併用）
5月31日	臨時常務会（Web併用）	11月11日	定例常務会（書面表決）
5月31日	定例理事会（Web併用）	11月28日	全関技術競技大会採点委員反省会（Web併用）
6月14日	電気安全表彰推薦候補選考委員会		
6月14日	定例常務会	11月28日	技術・認証委員会（Web併用）
6月14日	臨時理事会	12月12日	定例常務会
6月14日	第11回定時総会	12月13日	優良機材推奨認定委員会（書面表決）
6月14日	臨時新理事会	12月16日	優良機材開閉器仕様検討WG
6月27日	技術・認証委員会	12月20日	関東地区電気エネルギー考える委員会
6月30日	内閣府へ令和3年度事業関係報告提出	1月27日	定例常務会
7月 6日	漏電遮断器･感震ブレーカー取付推進運動連絡会	2月10日	定例常務会（書面表決）
		3月10日	表彰選考委員会
7月12日	定例常務会	3月10日	定例常務会
8月10日	定例常務会（書面表決）	3月17日	事業推進委員会（Web併用）
9月 5日	全関技術競技大会採点委員会（Web併用）	3月17日	総務・財務委員会（Web併用）
		3月24日	臨時常務会
9月 5日	技術・認証委員会（Web併用）	3月24日	定例理事会（Web併用）
9月12日	定例常務会	3月27日	優良機材推奨認定委員会（Web併用）
9月15日	内線規程講習会講師打合せ(Web併用)		
9月16日	内線規程講習会講師打合せ(Web併用)		

６．令和４年度委員会

委員会	検討テーマ
総務・財務委員会	全関内「製・販・工連絡会議」の主要テーマの検討
事業推進委員会	住宅電気工事センターの対応実態の把握・評価、及び強化方策の検討
技術・認証委員会	全関技術競技大会の隔年開催の実現に向けた課題点の解決方策の検討

７．賛助会員（順不同）

本会の事業活動をご支援いただいている賛助会員数は 42 社となります。

東京電力パワーグリッド株式会社	日本高圧電気株式会社（○）
公益社団法人東京電気管理技術者協会	三菱電機株式会社
パナソニック株式会社（○、□）	株式会社三英社製作所（○）
那須電材産業株式会社	金邦電気株式会社
古河電気工業株式会社	マクセルイズミ株式会社
ミツワ電機株式会社	未来工業株式会社（○）
テンパール工業株式会社（○）	株式会社カワグチ（○、□）
オーデリック株式会社	共立電気計器株式会社
日東工業株式会社（○）	イチネン TD リース株式会社
三菱電機住環境システムズ株式会社	ミドリ安全株式会社
株式会社日本ネットワークサポート（○）	河村電器産業株式会社（○）
大崎電気工業株式会社	スリーエムジャパン株式会社
ワゴジャパン株式会社（○）	株式会社西田製作所
内田鍛工株式会社（○）	DX アンテナ株式会社
株式会社戸上電機製作所（○）	株式会社空調服
日動電工株式会社（○）	ヒラヰ電計機株式会社
株式会社伊藤電気製作所（○）	埼広エンジニヤリング株式会社
内外電機株式会社（○）	古河電工パワーシステムズ株式会社
東神電気株式会社	株式会社ナスタ
株式会社東光高岳（○）	
株式会社土井製作所	○…優良機材推奨品認定メーカー
大垣電機株式会社（○）	□…全関推奨品認定メーカー
エナジーサポート株式会社（○）	

８．表彰関係

（１）電気保安功労者表彰　関東東北産業保安監督部長表彰　個人の部（電気工事士）3 名

（２）電気安全関東委員会委員長表彰の受賞者（社）29 件名

①電気安全関東委員会委員長表彰　電気工事事業者　　4 社

②電気安全関東委員会委員長表彰　電気工事士　23 名

③電気安全関東委員会委員長表彰　現場第一線従事者　2 名

（３）優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）　1 名

（４）青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰（建設ジュニアマスター）　1 名

（５）安全優良職長厚生労働大臣顕彰　1 名

（６）傘寿功労者　1 名

（７）第 12 回（第 41 回）会長表彰　受賞者（43 名）

（８）主要事業の表彰

事業活動の活性化を図るため、主要事業取り組みの成果について総合評価した結果、1 位：埼玉県地域協会、2 位：静岡県地域協会、3 位：栃木県地域協会を表彰しました。

令和 4 年度の主要事業は以下のとおりです。

・施工証明書制度の定着化
・会員加入促進
・住宅電気工事センター活性化方策
・不適合工事ゼロ運動
・漏電遮断器・感震ブレーカー取付推進運動
・全関技術競技大会
・引込線請負工事関係
・事業管理

９．賀詞交歓会の開催

本会の公益目的事業を支えていただいているご来賓や賛助会員、正会員の交流の場として、新年賀詞交歓会を開催しました。

・日時：令和５年１月 27 日（金）　15 時 00 分～17 時 00 分
・場所：第一ホテル東京
・参加者：ご来賓、賛助会員、正会員など 150 名が参加しました。

１０．Web システムによる会議開催

常務会や委員会など Web システムを活用した会議開催を実施しております。

１１．テレワークの実施等職場環境の整備

新型コロナウイルス感染症への予防および働き方改革の一環として、在宅勤務が可能となるよう規程を整備し、現在も継続的に実施しております。

【事　業　関　連】

１．電気安全・保安推進事業【電気安全保安推進事業:公益目的事業】

（１）電気安全保安相談業務

①住宅電気工事センターの運営

電力会社（または国の登録調査機関）が実施する、法で定められた４年に１度の一般用電気工作物定期調査において発見された不適合電気設備の改修相談、ブレーカーが落ちることの相談、コンセントなどの器具の増設・位置変え等など、より電気を安全に便利に使うための相談に応じております。

また、住宅電気工事センターを知っていただき、より身近なセンターを目指すためチラシ（453,650 枚）を作成し、電気使用安全月間などの諸事業の機会を捉え、配布しました。

②全関本部による相談の対応

地域や個別案件のご相談ではなく、一般的なご要望やご相談をお受けするための窓口としてホームページを活用した受付フォームを用意しております。こちらへのご相談には全関本部が対応し、取次が発生した際は各地域協会を通じ各住宅電気工事センターへ連絡し、スムーズな消費者相談への対応に努めています。

（２）電気使用安全月間への参画

一般用電気工作物の電気災害の防止や保安確保に資することを目的に、令和4年度も経済産業省主唱による「電気使用安全月間」（実施期間：令和4年8月1日～31日）に参画し、本会会員も電気安全の観点から、キャラバン隊による巡回PR、電気相談所の開設、街頭キャンペーン、広報活動等に東京電力パワーグリッド株式会社、一般財団法人関東電気保安協会、その他関係諸団体のご協力を得ながら積極的に実施しました。

①キャラバン隊の実施や相談所による活動

電気使用者に対し、電気使用安全の啓発活動、節電・省エネに関する情報周知、漏電遮断器・感震ブレーカー取付推進および、電気使用の合理化に関する啓発活動を行うとともに、電気使用者からの相談を受け付けました。

今年は夏祭りやイベントの自粛、中止が相次いだことから、接触を避ける対策を行う中で周知活動を実施しました。また、PR 用のツールとしてうちわ 20,000 枚を配布しました。

キャラバン隊実施回数 50 回、編成人数（延べ人数）361 名、使用車両台数 36 台となり、相談所は 12 箇所開設し、226 件の相談に応じました。

②電気使用安全月間アンケートの実施

電気使用安全月間の啓発活動の一環としてホームページ等により、電気安全に関するアンケートを実施しました。

ａ．実施期間：令和４年８月１日～9 月２日、全関ホームページまたは各都県のキャラバン隊実施時にアンケートを実施しました。

ｂ．回答数　83 件

ｃ．年齢

・10 代（6.4%）・20 代（2.6%）・30 代（6.4%）・40 代（15.4%）・50 代（17.9%）
・60 代（23.1%）・70 代（24.4%）・80 代（3.8%）

ｄ．性別

・男性（59.0%）・女性（41.0%）

Ｑ１．環境省では、夏の冷房時の室温は 28 度を目安と定めておりますが、それぞれの取組を教えてください（回答数 83）

・28 度に設定している（38.6%）　・効果的なのは知っている（28.9%）
・28 度に設定していない（21.7%）　・温度は気にしない（8.4%）
・エアコンを使用していない（2.4%）

Ｑ２．ご自宅の分電盤には漏電遮断器は付いていますか（回答数 83）

・付いている（84.4%）　・漏電遮断器がわからない（3.6%）
・分電盤がわからない(7.2%)　・付いていない(3.6%)
・分電盤や漏電遮断器の両方ともわからない（1.2%）

Ｑ３．中性線欠相保護機能付き漏電遮断器はご存知ですか（回答数 83）

・知らない(63.9%)　・知っている（36.1%）

Ｑ４．自然災害時の電気火災対策の一つとして、一定以上の地震の揺れにより、各家庭の電気の供給を自動的に遮断し、電気に起因する出火を防止する「感震ブレーカー」は知っていますか（回答数 83）

・知っている（55.5%）　・知らない（30.1%）　・知らないが興味はある（10.8%）
・すでに導入している（3.6%）

Ｑ５．コンセントプラグはときどき乾いた布などで掃除していますか（回答数 83）

・していない（60.2%）　・している（39.8%）

Ｑ６．コンセント差込口が足りず、たこ足配線になっていませんか（回答数 83）
・なっていない（50.6%）　・なっている（49.4%）

Ｑ７．分電盤にあるメインブレーカー（漏電遮断器）がよく切れませんか（回答数 83）
・切れない（95.2%）　・切れる（4.8%）

Ｑ８．ご家庭で取り組まれている節電方法はなんですか（複数回答）（回答数 286）
・日中は不要な照明を消す（21.7%）
・照明を LED 電球に変えた（14.0%）
・エアコンの設定温度を調整している（16.4%）
・直射日光を避けるため、すだれやよしずを活用している（14.0%）
・無理のない範囲でエアコンを消し、扇風機等を使用している（11.9%）
・長時間使わない機器はコンセントからプラグを抜く（8.7%）
・冷蔵庫の設定温度を「強」から「中」に変えた（7.0%）
・リモコンの電源ではなく本体の主電源を切る（4.9%）
・その他（1.4%）

Ｑ９．地震の際の二次災害防止（火災）のため、避難時にメインブレーカー（主開閉器）を切る（復旧時の通電火災の防止）ことや、電気機器のコンセントプラグを抜くことはご存知ですか（回答数 83）
・知っている（74.7%）　・知らなかった（25.3%）

Ｑ１０．今、エネルギー関連で興味のあるもの、詳しい内容が知りたいものを教えてください（複数回答）
①電気事情に関して　（回答数 92）
・節電や省エネ（47.8%）　・災害対策（37.0%）
・最大電力を抑えること（15.2%）　・電気料金の値上げ（0.0%）
②技能や仕組みについて（回答数 52）
・スマートコミュニティ（65.4%）
・HEMS（ホームエネルギーマネジメントシステム）（34.6%）
③設備に関して（回答数 104）
・太陽光発電（14.4%）　・エコキュート（16.3%）
・電気自動車及び充電設備（23.1%）　・家庭用燃料電池（29.8%）
・ヒートポンプ（8.7%）　・インバーダー組込み機器（7.7%）
④費用面など（回答数 87）
・助成金や補助金がある場合の内容や手続き（49.5%）
・施工費（26.4%）　・機器単価（24.1%）

Ｑ１１．「IoT」（様々な物がインターネットに接続され相互に制御する仕組み）技術が進歩し、様々な製品やサービスが提供・検討されております。ご家庭またはご自身で活用したいと思うものを教えてください（複数回答）（回答数 112）

・IoT がよくわからない（27.7%）
・生活家電（エアコン、照明、テレビなど）をスマートフォンやタブレットで自宅内、外から操作したい（27.7%）
・自宅の電気使用状況を詳しく知りたい（使いすぎなどの把握）（17.8%）
・離れたところで暮らしている両親の生活を見守りたい（12.5%）
・IoT に興味がない（11.6%）
・IoT を利用したくない（2.7%）

Ｑ１２．「施工証明書兼お客さま電気設備図面」を見たことがありますか（回答数 83）

・見たことも聞いたこともない（57.8%）　・見たことがある（27.7%）
・見たことはないが名前は聞いたことある（14.5%）

Ｑ１３．平成 28 年 4 月から電力小売全面自由化、平成 29 年 4 月からガス小売全面自由化が始まり、お客さま自身で自由に電力・ガス会社を選択することが出来るようになりましたが電力・ガス会社を選択しましたか？

（１）電力会社（回答数 83）

・選択していない、自由化以前のまま（89.2%）
・選択した（10.8%）

（２）ガス会社（回答数 66）

・選択していない・都市ガスエリアではない、自由化以前のまま（92.4%）
・選択した（7.6%）

Ｑ１４．電力小売全面自由化で電気工事業者（電気工事店）や住宅電気工事センターに期待することはありますか。（回答数 83）

・電力会社を切り替える際の手続きを手伝って欲しい（9.6%）
・どの電力会社が良いのか相談に応じて欲しい（2.4%）　・特にない（88.0%）

（３）漏電遮断器・感震ブレーカー取付推進運動の実施

電気災害防止方策の一環として、昭和 51 年以来「漏電遮断器取付推進運動」に積極的に取り組み、平成 15 年度からは「中性線欠相保護機能付き漏電遮断器」への取替推進に重点を置き、欠相事故の未然防止に努めています。

また、平成 27 年度からは、大地震発生に伴う電気火災事故を防ぐため感震ブレーカーについて広く啓発活動を展開し、平成 29 年度から運動の名称を「漏電遮断器・感震ブレーカー取付推進運動」（実施期間：令和 4 年 8 月 1 日～10 月 31 日）として、関係団体・企業のご支援・ご協力のもと実施しました。

実施にあたっては、推進運動チラシ 200,000 枚、推進運動ポスター2,000 枚、ポケットティッシュ 60,000 個を作成・配布しました。

①令和４年度漏電遮断器・感震ブレーカーの取付実績

・漏電遮断器未取付のお客さまへの取付台数：685 台

・中性線欠相保護機能付き漏電遮断器への取替え台数：1,105 台

・分電盤タイプ（内蔵型及び後付型）の感震ブレーカー取付台数：232 台（内 52 台は後付型）

②お客さまアンケート結果

ａ．実施期間：令和４年８月１日～10 月 31 日

ｂ．回答数：274 件

ｃ．年齢

・10 代（3.3%）・20 代（3.3%）・30 代（17.8%）・40 代（19.0%）

・50 代（13.6%）・60 代（18.6%）・70 代（17.8%）・80 代以上（6.6%）

ｄ．性別

・女（55.4%）・男（44.6%）

ｅ．職業

・会社員（23.4%）・主婦（12.8%）・無職（9.5%）・アルバイト（5.8%）

・自営業（3.6%）・公務員（3.3%）・団体職員（2.2%）・学生（1.8%）

・事務員（0.7%）・その他（5.1%）・無回答（31.8%）

Ｑ１．漏電遮断器をご存じですか（回答数：274 件）

・知っている（63.5%）　・知らない（36.5%）

Ｑ２．ご自宅の分電盤に漏電遮断器は取付けてありますか（回答数：174 件）

・取付けてある（74.7%）　・取付けてない（12.6%）　・わからない（12.7%）

Ｑ３．今後、漏電遮断器を取り付けるご予定はありますか（回答数：22 件）

・予定がある（18.2%）　・予定はない（36.4%）　・わからない（45.4%）

Ｑ４．Ｑ３で「予定はない」と回答した理由をお聞かせください（回答数：8 件）

・今まで電気トラブルはなかった（62.5%）

・取付に費用をかけたくない（25.0%）　・その他（12.5%）

Ｑ５．中性線欠相保護機能付き漏電遮断器をご存知ですか（回答数：274 件）

・知っている（18.6%）　・知らない（81.4%）

Ｑ６．ご自宅の漏電遮断器が中性線欠相保護機能のない漏電遮断器だった場合には、中性線欠相保護機能付き漏電遮断器に取り替えますか（回答数：51 件）

・取り替える（62.7%）　・取り替えない（13.8%）　・わからない（23.5%）

Ｑ７．Ｑ６で「取り替えない」と回答した理由をお聞かせください（回答数：7 件）

・取り替えに費用をかけたくない（14.3%）

・今まで電気トラブルはなかった（57.1%）　・その他（28.6%）

Ｑ８．いままでに、漏電遮断器のスイッチが切れたことがありますか
（回答数：274 件）
・ある（16.8%）　・ない（83.2%）

Ｑ９．漏電遮断器のスイッチが切れた時、あなたはどうしましたか（回答数：46 件）
・家族が操作した（73.9%）　・電力会社に電話した（15.2%）
・電気工事店に電話した（4.3%）　・住宅電気工事センターに電話した（2.2%）
・わからない（2.2%）　・その他（2.2%）

Ｑ１０．漏電遮断器が作動した時の対処方法をご存知ですか（回答数：274 件）
・知っている（57.3%）　・知らない（42.7%）

Ｑ１１．感震ブレーカーをご存じですか（回答数：274 件）
・知っている（39.1%）　・知らない（60.9%）

Ｑ１２．ご自宅の分電盤に感震ブレーカーを取り付けてありますか（回答数：107 件）
・取付けてある（27.1%）　・取付けてない（58.9%）　・わからない（14.0%）

Ｑ１３．今後、感震ブレーカーを取り付けるご予定はありますか（回答数：63 件）
・予定がある（15.9%）　・予定はない（57.1%）　・わからない（27.0%）

Ｑ１４．Ｑ１３で「予定はない」とご回答した理由をお聞かせください
（回答数：36 件）
・取付に費用をかけたくない（52.8%）
・いつ起こるかわからない大震災に備える必要はない（13.9%）
・その他（33.3%）

Ｑ１５．コンセントプラグを乾いた布などで掃除していますか。（トラッキング現象の予防）（回答数：274 件）
・している（61.7%）　・していない（38.3%）

③インターネット広告の実施

コロナ禍で活動の機会が減っているなかで、少しでも多くの方に本活動を知っていただくことを目的に、令和 5 年 10 月 1 日～31 日までの 1 か月間にインターネット広告を実施しました。

・広告閲覧数（インプレッション数）：2,463 回
・総クリック回数：54 回

（4）工事品質向上方策に関する理解活動

①不適合工事ゼロ運動の展開

「不適合工事ゼロ運動」を令和４年８月、令和５年２月に実施し、施工証明書の活用による自主検査実施の徹底を図り、不適合工事減少に向け取り組みました。

本会で把握している不適合工事内容については、依然として接地工事の不適合が過半数を占めており、接地工事の必要性、重要性について周知しました。

・令和４年８月は、施工証明書適用率25.0%、不適合工事率0.21%です。
・本会で把握できた不適合工事内容の構成は、引込点から分電盤までの配線（2.5%）分電盤の確認（17.3%）、漏電測定（3.7%）、接地工事（75.3%）、その他(1.2%)です。
・令和５年２月は、施工証明書適用率25.8%、不適合工事率0.28%です。
・本会で把握できた不適合工事内容の構成は、引込点から分電盤までの配線（2.4%）分電盤の確認（25.6%）、漏電測定（0.0%）、接地工事（72.0%）、その他(0.0%)です。

②施工証明書の理解活動

施工証明制度の普及拡大を目的に、お客さまに向けた施工証明書のメリットをお知らせするチラシを作成し、ホームページに掲載しました。

２．内線規程講習会【知識や技術の理解・習得に関する事業：公益目的事業】

（1）事前打ち合わせ会

下期に各県会場にて開催する講習会に先立ち、講師事前打ち合わせ会を開催しました。

①令和４年度内線規程講習会講師事前打ち合わせ会（9月15日）

ａ．開催日程：令和４年９月15日（木）14時00分～15時30分
ｂ．開催場所：全関会議室（Web併用）
ｃ．出席者
○出席
・東京都地域協会：１名
・全関事務局　　：１名
○Web出席
・東京都地域協会：１名
・静岡県地域協会：２名
ｄ．議題
・内線規程講習会について
・講義内容並びに講義の進め方について
・講習会資料について
・その他

②令和４年度内線規程講習会講師事前打ち合わせ会（9月16日）

ａ．開催日程：令和４年９月16日（金）14時00分～15時30分
ｂ．開催場所：全関会議室（Web併用）
ｃ．出席者
○出席
・茨城県地域協会：１名
・全関事務局　　：１名

〇Web 出席
・茨城県地域協会：1 名
・埼玉県地域協会：2 名

d．議題
・内線規程講習会について
・講義内容並びに講義の進め方について
・講習会資料について
・その他

（2）講習会開催結果

①東京会場
・日時：令和 4 年 10 月 21 日（金）9 時 00 分～17 時 00 分
・会場：電気工事会館 7 階
・講師：東京都地域協会：2 名
・受講者数：28 名
・理解度診断結果：79.3 点

②茨城会場
・日時：令和 4 年 11 月 2 日（水）9 時 00 分～17 時 00 分
・会場：茨城県電気工事業工業組合会議室
・講師：茨城県地域協会：2 名
・受講者数：23 名
・理解度診断結果：79.4 点

③埼玉会場
・日時：令和 4 年 11 月 22 日（火）9 時 00 分～17 時 00 分
・会場：埼玉県電気工事工業組合　埼玉電気会館 5 階
・講師：埼玉県地域協会：2 名
・受講者数：43 名
・理解度診断結果：76.2 点

④静岡会場
・日時：令和 4 年 12 月 7 日（水）9 時 00 分～17 時 00 分
・会場：静岡県東部電気工事協同組合 2 階
・講師：静岡県地域協会：2 名
・受講者数：25 名
・理解度診断結果：79.4 点

3．ケーブル防火区画貫通措置に関する講習会【知識や技術の理解・習得に関する事業：公益目的事業】

建築基準法で定められた「防火区画等」や、ケーブル防火区画貫通部に関する知識・技術を習得するための講習会を開催し、ケーブル火災の防止に努めるため講習会を実施しました。

・日時：令和 4 年 7 月 5 日（火）14 時 00 分～16 時 00 分
・会場：プラサヴェルデ　401 会議室（静岡県沼津市大手町 1-1-4）
※当初の想定以上に受講者が集まったことから、会場を県工組会議室から外部の施設へ変更
・講師：株式会社古河テクノマテリアル　市場開発部
・受講者数：72 名
・確認テスト結果：10 点満点中　8.8 点（平均点）

４．環境理解推進事業【知識や技術の理解・習得に関する事業：公益目的事業】

少子高齢化、人口減少が進む中で、サスティナビリティ社会の実現に向けては、女性の一層の社会参画、高齢者の益々の活躍が期待され、そのためにも生産性の向上は目下の課題となります。

その様な課題を見据える中で、従来の銅導体ケーブルに代わる新たな部材として、アルミ導体ケーブルが注目されています。

アルミ導体ケーブルは、素材の性質上銅導体ケーブルに比べて軽量かつ柔軟性に優れ、小さな力で作業が可能なことから、現場作業の省力化や作業性向上に貢献が期待される部材です。

多様な人々にとって働きやすい職場環境を実現しつつ、生産性の向上を強く推進する指導者を育成するため、アルミ導体ケーブルの製造・普及を牽引するメーカー工場の見学会を開催しました。

・日　時：令和 4 年 12 月 20 日（火）14 時 00 分～16 時 30 分
・場　所：古河電気工業株式会社平塚事業所（古河電工産業電線株式会社平塚工場）
　　（神奈川県平塚市東八幡 5-1-9）
・参加者：「関東地区電気エネルギーを考える委員会」委員等 13 名

５．第 28 回全関技術競技大会の実施【災害復旧に向けた調査、資料収集および技術研鑽に関する事業：公益目的事業】

電気工事の的確な施工と安全を重視した基本作業の定着及び公衆安全の確保を図ることはもちろん、非常災害時における、電気の復旧作業については、迅速かつ適切な対応が求められる中、日頃の技術・技能の研鑽が重要です。そこで復旧工法の工夫や改善、安全意識の向上を目的として実施し、改善成果の確認ならびに好事例を公表し、水平展開することで、より高いレベルの定着化を図り、緊急時対応にそなえることを目的に開催しました。

（１）開催日時：令和 4 年 10 月 5 日（水）　9 時 00 分～16 時 00 分　　天候：曇りのち雨
（２）開催場所：東京電力パワーグリッド㈱総合研修センター（東京都日野市百草 460）
（３）参加者　：選手：1 チーム 4 名×9 チーム＝36 名
　　：来賓 3 名・審査委員 5 名・採点委員 10 名・本会役員 9 名
　　競技大会実行委員 9 名・見学者・マスコミ等 101 名　　合計：173 名
（４）実施結果：関東東北産業保安監督部長賞　：神奈川県チーム
　　：東京電力パワーグリッド株式会社　社長賞　：栃木県チーム
　　：一般財団法人関東電気保安協会　理事長賞　：茨城県チーム
　　：全日本電気工事業工業組合連合会　会長賞　：埼玉県チーム
　　：公益社団法人全関東電気工事協会　会長賞　：東京都チーム
（５）審査委員長講評（概要）

選手の皆さまには早朝の中、また雨の中、競技に全力を尽くして取り組まれ大変お疲れ様でした。第 28 回全関技術競技大会の審査結果につきまして、審査員、採点委員を代表して講評を述べさせていただきます。

審査員は与えられたテーマについて、限られた時間内に電気設備技術基準等を遵守し、いかに手際よく、確実に、出来栄えよく完成できたかを、公平かつ厳正に審査いたしました。審査結果につきましては、全体的に各チームの技術力が拮抗しておりまして、大変良好な成績であったと思っております。

また、全チーム時間内に作業を終えられたことは大変素晴らしいと感じております。良かった点、気づいた点をいくつか紹介させていただきます。

〇良かった点

・安全配慮、基本動作に修練さが垣間見えた。

・呼称、復唱が良くできていた。

〇気づいた点

・雨天のせいか、一部のチームで安全装備品の扱いに不備が見られた。

・時間制限の焦りから一部きめ細かさが欠ける作業があった。

本日参加された皆さまにおかれましては、本大会を契機にさらに技術を磨いていただき、今後も職場や地域の技術指導者として、大いに活躍されることを期待しております。

６．非常災害時の応動体勢整備に関わる実態把握アンケートの実施【災害復旧に向けた調査、資料収集および技術研鑽に関する事業：公益目的事業】

近年、自然災害は激甚化する傾向にあり、大規模災害発生の折、各自治体からの協力要請のほか、電力会社からも請負契約書の記載に基づく協力要請が行われることが想定されます。

有事に際しての早期復旧に向け迅速かつ的確な対応が可能となるよう、非常災害時の協力要請に備え、実働可能な工事力の状況や資機材の実態を把握するアンケート調査を引込線工事店（SB 工事店を除く）全社に対し実施しました。

（実施期間：令和５年１月 27 日～令和５年３月８日）

（１）引込線関係請負工事の工事請負契約書において「非常災害時の協力」とありますが、要請があった場合、応じることは可能ですか。

引込線工事店数		2,064 社
応動	可	1,418 社
	不可	646 社
応動工事店比率		69%

（２）災害発生時、自工事店の作業員を招集することは可能ですか。

応動可能工事店数		1,418 社
作業員の招集	可	1,318 社
	不可	100 社

（３）災害発生時に招集できる登録作業員数はどのくらいですか。

招集可能作業員数		4,574 名
招集可能登録作業員数	柱上	2,651 名
	地上	1,923 名
内、職長経験者数		2,683 名

（3）－① 招集可能登録作業員数　／　その人数を招集可能な工事店数

応動可能工事店数		1,418 社
柱上作業員	0 名	110 社
	1 名	532 社
	2 名	471 社
	3 名	197 社
	4 名	47 社
	5 名以上	61 社

応動可能工事店数		1,418 社
地上作業員	0 名	232 社
	1 名	655 社
	2 名	362 社
	3 名	98 社
	4 名	27 社
	5 名以上	44 社

応動可能工事店数		1,418 社
職長経験者	0 名	185 社
	1 名	475 社
	2 名	388 社
	3 名	210 社
	4 名	86 社
	5 名以上	74 社

（4）越境作業応援依頼があった場合、どこまで応じることが可能ですか。

応動可能工事店数		1,418 社
越境作業応援応動可能範囲	管轄東電 PG 支社管内	534 社
	県内	582 社
	県外（隣接県）	233 社
	県外（1 都 8 県）※	69 社

※1 都 8 県・・・東京都、栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県、千葉県、神奈川県、山梨県、静岡県富士川以東

（5）高所作業車はお持ちですか。

応動可能工事店数		1,418 社
高所作業車	有	768 社
	無	650 社

（5）－ ① 高所作業車を何台お持ちですか

高所作業車所有工事店数		768 社
所有台数	1 台	653 社
	2 台	68 社
	3 台	19 社
	4 台	13 社
	5 台以上	15 社
全関大の所有台数		1,004 台

（5）－ ② 災害発生時招集可能な作業員に、高所作業車の取扱有資格者は何名いますか。
（登録作業員を対象とする）

高所作業車所有工事店数		768 社
有資格者（登録作業員）	0 名	5 社
	1 名	157 社
	2 名	237 社
	3 名	207 社
	4 名	88 社
	5 名以上	74 社
招集可能作業員数		4,574 名
内、高所作業車有資格者数		2,117 名

7．工事請負等の業務支援に関する事業【収益事業】

（1）引込線関係請負工事店の安全研修・安全パトロール

引込線関係請負工事店の安全研修への全員参加の徹底、安全パトロールの効果的な実施とともに、引込線関係請負工事契約を希望する工事店の推薦業務を実施しました。

令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月実績

推薦希望工事店数	新規・変更（延べ）	234 社
	更新	2,927 社
	計（延べ）	3,161 社
安全研修		195 回
安全パトロール		63 回

（2）フルハーネスを着用した安全帯昇降柱法映像資料の制作

フルハーネス本格導入時より安全帯昇降柱法映像化の要望を受け、引込線・取引用計器設計工事指針に基づき、短尺ランヤード・セーフティロープを使用しない安全帯昇降柱法（フルハーネス着用）の、映像資料を作成しました。

作成した映像資料は、引込線関係請負工事店の安全研修や、指導員の研修等における参考資料として広く活用できるよう、地域協会を通して各エリアに DVD を 138 枚配布しました。

８．電気機器材料の品質向上に関する運営および使用推奨の普及活動、また関係団体との情報交換に関する事業【収益事業】

（１）優良機材推奨認定委員会および開閉器仕様検討WGの開催

仕様変更要望やJIS改訂に対応するため委員会およびWGを設置し、開閉器規格の改訂作業を行っております。

（２）優良機材推奨品認定制度の運営について

令和５年３月末の認定件数は、更新12件、部分変更１件となりました。

（３）全関推奨品認定制度の運営について

令和５年３月末の認定件数は、更新２件となりました。

（４）内線規程の改訂に伴う早期注文の実施

内線規程の改訂に伴い、各都県から内線規程および内線規程Q&Aの早期注文（早期注文期間：令和４年11月22日～令和４年12月５日）を受け付け、内線規程は2,505冊、内線規程Q&Aは1,381冊を販売しました。

９．新規事業への取組【収益事業】

（１）テプコカスタマーサービス株式会社と協業した受電設備サービスの実施

「高圧受変電設備新設・更新工事」見積業務等を継続して実施しております。

（２）東電タウンプランニング株式会社と協業したEV充電等機器設置に関するコンサルトの実施

EV充電等機器設置の工事一括受注を目指し、東電タウンプランニング株式会社と協働し収益事業化への試験的実施として、２件受注しました。

（３）一般財団法人関東電気保安協会との協業事業の検討

一般財団法人関東電気保安協会が管理する受変電設備の清掃業務について、令和５年２月１日付で契約を締結し、令和５年度実施に向け各所において体制を構築しております。

（４）東京電力パワーグリッド株式会社からの工事要請取次業務の検討

新たな市場確保・拡大を目指し、東京電力パワーグリッド株式会社からの工事要請取次業務の検討を実施しております。

今後、事業化実現に向け更に、検討を進めてまいります。